

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 燈影学園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒607-8025
 京都市山科区四ノ宮柳山町29
 E-mail: nishikawa@ittoen.ed.jp
 Website: <http://www.ittoen.ed.jp>

児童生徒数：男子 56名 女子 37名 合計 93名
 児童・生徒の年齢 6歳 ~ 18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1) 昨年に引き続き、ポロ競技を通じて英国文化の体験学習をしました。
英国文化、中でもレーディース/ジェントルマンに代表される華やかな貴族の文化は17世紀の初めに産業革命を達成し、世界の富を手中に収めた財力で築かれたものです。イギリスの植民地となったインドに東インド会社が設立され、産業の中心となっただけでなく、東方文化を余すところなくイギリス本国に持ち帰ったもので、ポロはその中に一つにありました。小学生はこの特異な歴史と文化については英国からボランティア活動として来日されている GAPYEAR の先生から生のお話を聞くことができました。そして、ポロがイギリス古来のものではなく、紀元前にペルシャで生まれたポロが1800年代にインドから英国に持ち込まれたものであることが分かりました。

2) 更に中学生と高校生が共同で調べていく過程で、ポロ文化の伝承はインドからイギリスに留まらず、ペルシャからチベットに伝わり、チベットから中国に、そして驚いたことに朝鮮を通じて日本にまで伝承されていたことが分かりました。今回の国際理解の学習で学んだ最大の収穫は、青森・八戸市の新羅神社と山形の豊烈神社、そして宮内庁で今でもポロが伝統文化として継承されていることでした。

3) 現在行われているイギリスのポロの競技は、4人一組のチームが騎馬で相手方のゴールにボールを運び込めば勝ち点となり、7分毎の試合を5回繰り返して勝敗を決めます。戦前にはオリンピック競技として6回行われましたがポロの競技場がサッカー場の5倍の広さが必要であることや選手一人に5頭の馬が要ることから廃れていきました。現在では王室と一部の貴族だけのスポーツとして残っています。

4) 太古に生まれたポロが時代を経て世界の各地に伝承されていったことには、競技としての面白さがあったものと思われることから、騎馬競技であるポロの馬を一輪車に代えることでポロの面白味を体験することにした。学習の結果は児童の作文から国際理解の学習目的は達成できたと判断しました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()